令和６年度　アクションプラン

子供の実態

≪知≫	≪徳≫	≪体≫
○「聞き合う」ことを大切にし、話し手に姿勢を向けて、話合いをしている。 ○自分の言葉で考えを伝えたり、まとめたりしている。 ●プリントやドリル等を活用し復習しているが、学習の定着には苦労している子供が、各学年に一定数見られる。	○「あいさつ」「進んで活動」「仲良し」の３つを目標に、よりよい城端っ子を目指している。 ○友達や地域にスマイルを増やす活動を、委員会や学年で企画・実行してきた。 ●自分から挨拶ができる子供がいるが、言われてからする子供も多い。	○「最速王」「持久走記録会」「縄跳び大会」等、体を動かす企画に参加する子供が多く、楽しみながら運動している。 ○フッ化物洗口の効果でむし歯は少ないが歯肉炎の心配がある。 ●天候不良・熊・熱中症対策等で、屋外での運動が制限されてしまう。

毎日タブレットを持ち帰り、学習に活用する。

家庭と協力し、タブレット使用のルールを決める。

－　今年度の重点目標　－

みんなで　笑顔を生み出す　チームJ

城端学を生かし、「城端大好き」な子供を育む。

自ら課題を決めて学習する。

数値目標

e ライブラリのドリル学習で花を咲かせる子供 80%

自分から毎日５人以上に挨拶する子供 80%

「とやま元気っこチャレンジ」でコインを250 枚以上集める子供 80%

「できた」を実感する子供

達成に向けての手立て

≪知≫	≪徳≫	≪体≫
・授業の充実 ・家庭学習の工夫 ・苦手分野の確認（学力調査等を基に）、課題や目標の設定 ・タブレットの利活用 ・自主学習の推進	・学級活動や児童会活動を通して挨拶の推奨 ・グループエンカウンターの定期実施 ・教員の笑顔力 UP	・体育科の授業充実 ・運動委員会・健康委員会・給食委員会の企画で具体的な活動設定 （ランランタイムでの目標達成・食後の歯磨き・食育等） ・啓発活動

評価方法

児童・保護者へのアンケートをタブレットを用いて２回（7 月・11 月）
結果の公表は、テトルを用いて行い、城端地域学校評議員会で説明する。